

叙勲

瑞宝双光章



横山 昭さん (湯見町2区)

瑞宝单光章



齋藤 正治さん (長岡)

昭和39年から平成15年まで象潟町事務吏員として奉職。同16年9月同町助役に就任以降、同17年9月まで3町の合併に尽力。同18年6月から初代にかほ市助役に就任し、同19年4月からは副市長として同22年5月まで、新市運営の重責を果たされました。

誠実さと先見性をもって指導力を発揮、地方自治の発展に大きく貢献した功績が評価され、瑞宝双光章（地方自治功労）が授与されました。

【叙勲】  
地域社会や経済の発展などのために長年尽力され、功労のあつた方に授与されます。

昭和42年に象潟町消防団団員拝命後、39年間、消防団の一員として災害現場の第一線で活躍されました。

また、平成10年からは仁賀保地区消防団副団長として、さらに同17年10月の市町村合併時から、にかほ市消防団副団長として消防の発展にご尽力された功績が評価され瑞宝单光章（消防功労）が授与されました。

ご長寿を祝い、各地区ごとに開催

～平成28年度にかほ市金婚式・敬老式～



10月4日から21日にかけて、各地区ごとに「にかほ市金婚式・敬老式」が開催されました。

結婚50周年の節目を祝う金婚式には各地区合わせて9組の夫婦が出席し記念撮影後、祝い状が贈呈されました。また、75歳以上から対象となる敬老式には967人が出席し、多年にわたり社会へ貢献されてきたご労苦を敬い、ご長寿をお祝いしました。

続いて行われた祝宴では、恒例となった園児や地域婦人会による踊りなどが披露され、笑顔が絶えない楽しい

上段 代表し長寿祝い金の贈呈を受けた阿部キチヨさん(平沢) 宴となりました。

健康管理と家族の大切さ

～にかほ市健康まつり・市民健康講座～

10月29日、スマイルでにかほ市健康まつり・市民健康講座が開催され、日頃から健康に関心を持つ市民約100人が参加しました。

「いきいきと生きて逝くために～自分の最期を考えること～」と題して、芸北ホリスティックセンター雄鹿原診療所（広島県北広島町）所長・東條環樹氏が講演。普段敬遠しがちな話題にもかかわらず、ユーモアを交えた軽快で巧みな話術で会場を魅了しました。

そして、自分の最期と向き合うことで見えてくる健康管理や家族の大切さなどについても語られました。



東條先生(写真・左上)と、笑いが絶えない会場

楽しみながら健康維持増進を

～にかほ歩まちなかウォーキング事業表彰式～

10月31日、スマイルを会場に、にかほ歩まちなかウォーキング事業の表彰式が行われました。

この事業は、あらかじめ申請し歩いた日付と距離を記載するウォーキングカードを受け取り、5月23日から9月30日までの期間で歩いた総距離により、にかほ市の友好都市までの距離に応じた特産品等の記念品を贈呈する事業です。

2年目となる今年度は83人が参加し、最長コースとなる東京都台東区浅草（姉妹地）までの530km超えは14人が達成しました。



代表の佐々木克美さん（鳥の海1区）は総距離1,317.1km！

長年にわたり、バレーボールを通じて地域のスポーツ少年団を指導し、地域スポーツの振興・発展に尽力。現在も8人制バレーにおいて活躍し、後進の指導、競技の普及に貢献した功績が認められ、森川志保子さんが文部科学省スポーツ庁より生涯スポーツ功労者の表彰を受けられました。

表彰状

森川志保子さん（琴浦）

公益社団法人国土緑化推進機構理事長感謝状  
東北・北海道地区緑化推進協議会会長表彰



左から  
五十嵐榮治さん（武道島2区）  
氏家完次さん（下荒屋）  
澁谷國夫さん（33区）

天然記念物「象潟」九十九島の美しい景観を維持し後世に引き継ぐことを目的に掲げ、平成11年から松くい虫被害の防除を中心に継続的な活動を展開していることが評価され、九十九島の松をまもる会（代表 氏家完次氏）が表彰を受けられました。